

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2021.7.26-8.1

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

18 指揮者のために。主のしもべダビデによる。主が、彼のすべての敵の手、特にサウルの手から彼を救い出された日に、この歌のことばを主に歌った

18:1 彼はこう言った。主、わが力。私は、あなたを慕います。

18:2 主はわが巖、わがとりで、わが救い主、身を避けるわが岩、わが神。わが盾、わが救いの角、わがやぐら。

18:3 ほめたたえられる方、この主を呼び求めると、私は、敵から救われる。

18:4 死の綱は私を取り巻き、滅びの川は、私を恐れさせた。

18:5 よみの綱は私を取り囲み、死のわなは私に立ち向かった。

18:6 私は苦しみの中に主を呼び求め、助けを求めわが神に叫んだ。主はその宮で私の声を聞かれ、御前に助けを求めた私の叫びは、御耳に届いた。

18:7 すると、地はゆるぎ、動いた。また、山々の基も震え、揺れた。主がお怒りになったのだ。

18:8 煙は鼻から立ち上り、その口から出る火はむさぼり食い、炭火は主から燃え上がった。

18:9 主は、天を押し曲げて降りて来られた。暗やみをその足の下にして。

18:10 主は、ケルブに乗って飛び、風の翼に乗って飛びかけられた。

18:11 主はやみを隠れ家として、回りに置かれた。その仮庵は雨雲の暗やみ、濃い雲。

18:12 御前の輝きから、密雲を突き抜けて来たもの。それは雹と火の炭。



18:13 主は天に雷鳴を響かせ、いと高き方は御声を発せられた。雹、そして、火の炭。

18:14 主は、矢を放って彼らを散らし、すさまじいいなすまで彼らをかき乱された。

18:15 こうして、水の底が現われ、地の基があらわにされた。主よ。あなたのとがめ、あなたの鼻の荒いいぶきで。

18:16 主は、いと高き所から御手を伸べて私を捕え、私を大水から引き上げられた。

18:17 主は私の強い敵と、私を憎む者とかから私を救い出された。彼らは私より強かったから。

18:18 彼らは私のわざわいの日に私に立ち向かった。だが、主は私のささえであった。

18:19 主は私を広い所に連れ出し、私を助け出された。主が私を喜びとされたから。

主はここにあるように恐るべき力を持ったお方であると理解しましょう。敵がどれほど強くても、天地の創造者に勝るわけがありません。そして私たち自身も、この主を自由に仕えさせることなどできません。主は御自身のみこころだけを、誰にも影響されることなく完成することのできる方なのです。

この主に祈っているのだと知りましょう。この主に愛されているのだと安心しましょう。またこの主に知られているのだと、恐れましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



27日 火曜

詩篇



18:20 主は私の義にしたがって私に報い、私の手のきよさにしたがって私に償いをされた。

18:21 私は主の道を守り、私の神に対して悪を行なわなかった。

18:22 主のすべてのさばきは私の前にあり、主のおきてを私は遠ざけなかった。

18:23 私は主の前に全く、私の罪から身を守る。

18:24 主は、私の義にしたがって、また、御目の前の私の手のきよさにしたがって私に償いをされた。

18:25 あなたは、恵み深い者には、恵み深く、全き者には、全くあられ、

18:26 きよい者には、きよく、曲がった者には、ねじ曲げる方。

18:27 あなたは、悩む民をこそ救われますが、高ぶる目は低くされます。

18:28 あなたは私のともしびをともしられ、主、私の神は、私のやみを照らされます。

18:29 あなたによって私は軍勢に襲いかかり、私の神によって私は城壁を飛び越えます。

18:30 神、その道は完全。主のみことばは純粋。主はすべて彼に身を避ける者の盾。

ここに歌われているように、苦難にあるとき、自分主のみこころに沿って歩んできたという確信こそが、回復への力になります。主に助けていただくのですから、主の前にやましいことがあったなら、確信は持ちづらいのです。

しかし一方、主の前に罪を知らされることもあります。そのときは悔い改めて、その上で主に助けを求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



18:31 まことに、主のほかにだれが神であろうか。私たちの神を除いて、だれが岩であろうか。

18:32 この神こそ、私に力を帯びさせて私の道を完全にされる。

18:33 彼は私の足を雌鹿のようにし、私を高い所に立たせてくださる。

18:34 戦いのために私の手を鍛え、私の腕を青銅の弓をも引けるようにされる。

18:35 こうしてあなたは、御救いの盾を私に下さいました。あなたの右の手は私をささえ、あなたの謙遜は、私を大きくされます。

18:36 あなたは私を大またで歩かせます。私のくるぶしはよろけませんでした。

18:37 私は、敵を追って、これに追いつき、絶ち滅ぼすまでは引き返しませんでした。

18:38 私が彼らを打ち砕いたため、彼らは立つことができず、私の足もとに倒れました。

18:39 あなたは、戦いのために、私に力を帯びさせ、私に立ち向かう者を私のもとにひれ伏させました。

18:40 また、敵が私に背を見せるようにされたので、私は私を憎む者を滅ぼしました。

18:41 彼らが叫んでも、救う者はなかった。主に叫んでも、答えはなかった。

18:42 私は、彼らを風の前のちりのように、打ち砕き、道のどろのように除き去った。

18:43 あなたは、民の争いから、私を助け出し、私を国々のかしらに任せられました。私の知らなかった民が私に仕えます。

18:44 彼らは、耳で聞くとすぐ、私の言うことを聞き入れます。外国人らは、私におもねります。

18:45 外国人らはしなえて、彼らのとりでから震えて出て来ます。

18:46 主は生きておられる。ほむべきかな。わが岩。あがむべきかな。わが救いの神。

18:47 この神は私のために、復讐する方。神は諸国の民を私のもとに従わせてくださる。

18:48 神は、私の敵から私を助け出される方。まことに、あなたは私に立ち向かう者から私を引き上げ、暴虐の者から私を救い出されます。

18:49 それゆえ、主よ。私は、国々の中であなたをほめたたえ、あなたの御名を、ほめ歌います。

18:50 主は、王に救いを増し加え、油そそがれた者、ダビデとそのすえに、とこしえに恵みを施されます。

苦難のときに、祈りと主からの答えによって、勝利と救いの確信をいただくことができます。そして多くはその勝利は、自らが主とともに戦うことで得られるものです。努力し、挑戦し、壁を乗り越えて行くのです。

「あなたは私を大またで歩かせます。私のくるぶしはよろけませんでした。」とあります。臆病にならないで、主の最善の結果があることを信じて、やって見ましょう。仮に思い通りの結果でなくても、主にあつて無駄なことは一つもありません。努力と挑戦をしないことが、信仰の損失なのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



29日 木曜

詩篇

19 指揮者のために。ダビデの賛歌

19:1 天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。

19:2 昼は昼へ、話を伝え、夜は夜へ、知識を示す。

19:3 話もなく、ことばもなく、その声も聞かれない。

19:4 しかし、その呼び声は全地に響き渡り、そのことばは、地の果てまで届いた。神はそこに、太陽のために、幕屋を設けられた。

19:5 太陽は、部屋から出て来る花婿のようだ。勇士のように、その走路を喜び走る。

19:6 その上るのは、天の果てから、行き巡るのは、天の果て果てまで。その熱を、免れるものは何もない。

19:7 主のみおしえは完全で、たましいを生き返らせ、主のあかしは確かで、わきまえのない者を賢くする。

19:8 主の戒めは正しくて、人の心を喜ばせ、主の仰せはきよくて、人の目を明るくする。

19:9 主への恐れはきよく、とこしえまでも変わらない。主のさばきはまことであり、ことごとく正しい。

19:10 それらは、金よりも、多くの純金よりも好ましい。蜜よりも、蜜蜂の巣のしたたりよりも甘い。

19:11 また、それによって、あなたのしもべは戒めを受ける。それを守れば、報いは大きい。

19:12 だれが自分の数々のあやまちを悟ることができましょう。どうか、隠れている私の罪をお赦しください。



19:13 あなたのしもべを、傲慢の罪から守ってください。それらが私を支配しませんように。そうすれば、私は全き者となり、大きな罪を、免れて、きよくなるでしょう。
19:14 私の口のことばと、私の心の思いとが御前に、受け入れられますように。わが岩、わが贖い主、主よ。

私たちは天地万物から神様のことを知ることができます。それは「神の栄光を語り告げ」のために存在しているのです。漠然と生活するのではなく、あらゆることに神様の偉大さを見る訓練をしましょう。それは私たちの霊を豊かにし、また強くします。

また当然、みことばから神様のことを知ることができます。それは何か難しい教科書のようにではなく、また面倒な指示書でなく、通達でもありません。「蜜よりも、蜜蜂の巣のしたたりよりも甘い」ものなのです。

このような聖書の味わいを楽しむ者となりましょう。それもまた訓練であり、継続です。何よりも主にみことばをいただいたという経験です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



20 指揮者のために。ダビデの賛歌

20:1 苦難の日に主があなたにお答えになりますように。ヤコブの神の名が、あなたを高く上げますように。

20:2 主が聖所から、あなたに助けを送り、シオンから、あなたをささえられますように。

20:3 あなたの穀物のささげ物をすべて心に留め、あなたの全焼のいけにえを受け入れてくださいますように。セラ

20:4 主があなたの願いどおりにしてくださいますように。あなたのすべてのはかりごとを遂げさせてくださいますように。

20:5 私たちは、あなたの勝利を喜び歌いましょう。私たちの神の御名により旗を高く掲げましょう。主があなたの願いのすべてを遂げさせてくださいますように。

20:6 今こそ、私は知る。主は、油をそそがれた者をお救いになる。主は、右の手の救いの力をもって聖なる天から、お答えになる。

20:7 ある者はいくさ車を誇り、ある者は馬を誇る。しかし、私たちは私たちの神、主の御名を誇ろう。

20:8 彼らは、ひざをつき、そして倒れた。しかし、私たちは、立ち上がり、まっすぐに立った。

20:9 主よ。王をお救いください。私たちが呼ぶときに私たちに答えてください。

これは王のために祝福を願う詩であると思われま
す。イスラエルでは王は主から「油をそそがれた
者」、すなわち主の主権によって立てられ、主のた
めに治める者であると思われていたからです。



私たちも主によって立てられた指導者の祝福を祈るべきです。家庭、教会の小グループ、教団、ミニストリーなどなど、主による秩序と役割を尊重しましょう。

真の主にある指導者は「私たちの神、主の御名を誇り」とし、頼みとします。主への信頼を共同体の力としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



21 指揮者のために。ダビデの賛歌

21:1 主よ。王はあなたの御力を、喜びましょう。あなたの御救いをどんなに楽しむことでしょうか。

21:2 あなたは彼の心の願いをかなえ、彼のくちびるの願いを、退けられません。セラ

21:3 あなたは彼を迎えてすばらしい祝福を与え、彼のかしらに純金の冠を置かれます。

21:4 彼はあなたに、いのちを請い求めました。あなたは彼に、とこしえまでの長い日々を与えられました。

21:5 御救いによって彼の栄光は、大きい。あなたは、尊厳と威光を彼の上に置かれます。

21:6 あなたは、とこしえに彼を祝福し、御前の喜びで彼を楽しませてくださいます。

21:7 まことに、王は主に信頼し、いと高き方の恵みによってゆるがないでしょう。

21:8 あなたの手は、あなたのすべての敵を見つけ出し、あなたの右の手は、あなたを憎む者どもを見つけ出します。

21:9 あなたの御怒りのとき、彼らを、燃える炉のようにされましよう。主は御怒りによって彼らをもみ尽くし、火は彼らを食い尽くすでしょう。

21:10 あなたは、地の上から、彼らのすえを滅ぼされましよう。また、人の子らの中から、彼らの子孫をも。

21:11 彼らが、あなたに対して悪を企て、たくらみを設けたとしても、彼らには、できません。

21:12 あなたは彼らが背を見せるようにし、弓弦を張って彼らの顔をねらわれるでしょう。

21:13 主よ。御力のゆえに、あなたがあがめられますように。私たちは歌い、あなたの威力をほめ歌います。

神によって立てられた指導者が「楽し」んで「喜ぶ」ことができるなら、その共同体は祝福されています。一方またイスラエルのように、王が主に「信頼」しないで、別のものに頼るなら祝福は去って行きます。

主による指導者のために祈るとは、単に人間的な喜びのためではなく、その人の信仰のためにも祈るということです。最終的には主の「威力をほめ歌」うようになるために、とりなしの祈りをするのです。

また私たちがクリスチャンとして、この世の指導者ともなり得る存在です。主に信頼することによって、真の指導者となりましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶ 1日 日曜

ピレモン

1:1 キリスト・イエスの囚人であるパウロ、および兄弟テモテから、私たちの愛する同労者ピレモンへ。また、

1:2 姉妹アピヤ、私たちの戦友アルキポ、ならびにあなたの家にある教会へ。

1:3 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたの上にありますように。

1:4 私は、祈りのうちにあなたのことを覚え、いつも私の神に感謝しています。

1:5 それは、主イエスに対してあなたが抱いている信仰と、すべての聖徒に対するあなたの愛とについて聞いているからです。

1:6 私たちの間でキリストのためになされているすべての良い行ないをよく知ることによって、あなたの信仰の交わりが生きて働くものとなりますように。

1:7 私はあなたの愛から多くの喜びと慰めを受けました。それは、聖徒たちの心が、兄弟よ、あなたによってカづけられたからです。

1:8 私は、あなたのなすべきことを、キリストにあって少しもはばからず命じることができるのですが、こういうわけですから、

1:9 むしろ愛によって、あなたにお願いしたいと思っています。年老いて、今はまたキリスト

・イエスの囚人となっている私パウロが、1:10 獄中で生んだわが子オネシモのことを、あなたにお願いしたいのです。

1:11 彼は、前にはあなたにとって役に立たない者でしたが、今は、あなたにとっても私にとっても、役に立つ者となっています。

1:12 そのオネシモを、あなたのもとに送り返します。彼は私の心そのものです。



1:13 私は、彼を私のところにとどめておき、福音のために獄中にいる間、あなたに代わって私のために仕えてもらいたとも考えましたが、

1:14 あなたの同意なしには何一つすまいと思いました。それは、あなたがしてくれる親切は強制されてではなく、自発的でなければいけないからです。

福音が難問をどのように解決してゆくことができるのか。それがこの手紙では表わされています。パウロは、盗みを働いて今は回心したオネシモのためにとりなしています。すなわち、その主人であり被害者でもあるピレモンに、彼を受け入れるようにと願っているのです。どのような人でも救われるなら新しい人生が開けるのですが、それは現実的なものでなければなりません。私たちの教会でもその実際を見たいし、そのために愛の労苦をしたいものです。

パウロはまずピレモンの心が開かれるように、また主の視点から始められるように、感謝から始めています。ここに聖霊に頼る信仰があります。

また「あなたの同意なしには何一つすまいと思いました。」と、相手の主体性に任せています。これも聖霊が働いてくださる機会でもあります。正しいからと相手に有無を言わせないというのは、信仰による思考と決断をなくしてしまうのです。

これらを参考にしながら、主の御心になかった人の導き方をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

